



	3月				4月			
	最高気温	最低気温	平均気温	雨量(mm)	最高気温	最低気温	平均気温	雨量(mm)
本年	21.7	15.0	18.4	140.0	24.4	17.6	20.9	71.0
平年	21.0	14.8	17.9	128.0	23.1	17.0	20.0	138.7
平年との差	+0.7	+0.2	+0.5	+12.0	+1.3	+0.6	+0.9	-67.7

製糖終了の御挨拶

生和糖業株式会社
取締役工場長 山本 茂樹

生産者の皆さま、毎日お疲れ様です。
 昨年12月12日から始まった今製糖期は、4月2日に搬入が終了し、工場においては残処理を行い4月3日に、延べ105日間の製糖操業を無事に終了いたしました。
 当初、さとうきび処理量 75,000 t を見込みスタートし、台風や大きな気象被害が無かった年でしたが、さとうきび処理量は 73,784 t と、見込みにわずかに届かない結果となりました。
 一方、平均糖度は 15.41度と高く、品質面は大変に良い年だったと思います。
 今期は、さとうきびの生産量は上向きでしたが、島のさとうきび産業の現状は農家戸数の減少、高齢化による圃場管理不足など様々な要因で、減少傾向は止まる気配が無く、大変な危機感を感じております。
 生和糖業は、これからもさとうきび増産に向けて、知恵を出し、力を出し、島の発展のために頑張っ
 て参りますので、引き続きの御協力を宜しくお願い致します。
 これから暑い時期を迎え、農作業は厳しくなりますが、作業の際には体調管理に十分に気を付けて
 乗り切ってください。ご祈念致します。

搬入終了式



製糖期前から畑を見て回り、台風も無く恵まれた条件で、これほど長く伸びたキビをあまり見たことが無かったので期待をしておりましたが、「ワタアブラムシ等の被害、株数が少ないのではないかと悲観的な報告も受けており、何とか75,000トンは超えて欲しいと思っておりましたが僅かに届きませんでした。しかし、昨年よりも約10,000トン多く搬入されました。
 今後は、いかに単収を上げるか、面積を伸ばしていくかと、増産に向けて行政も取り組んでおりますので、ご期待を頂きたいと思っております。喜界町長 隈崎 悦男



4月2日（土）午前10時30分

第63期（2021/2022年度）のさとうきびの搬入が無事に終了いたしました。生産量は見込みに僅かに達しなかったですが、糖度は8割以上が基準糖度帯を超え、ここ数年で見ると素晴らしい結果だったと思います。生産農家の皆さま、お疲れ様でした。今後も単収向上を目標に取り組んで参りましょう。



きび生産農家の皆さま
関係各所の皆さま
大変お疲れ様でした！

◆◆◆ 収穫面積・生産量の推移 ◆◆◆

作型 各年	夏植			秋植			春植			株出			合計		
	面積 (a)	単収 (kg/10a)	生産量 t	面積 (a)	単収 (kg/10a)	生産量 t	面積 (a)	単収 (kg/10a)	生産量 t	面積 (a)	単収 (kg/10a)	生産量 t	面積 (a)	単収 (kg/10a)	生産量 t
今期(2021/2022)	9,846	7,322	7,209	12,390	6,655	8,245	14,185	5,877	8,337	92,401	5,410	49,993	128,822	5,728	73,784
2020/2021	15,473	6,832	10,572	12,627	5,829	7,360	16,182	3,957	6,403	92,535	4,286	39,665	136,816	4,678	64,000
前期との差	-5,627	490	-3,363	-237	826	885	-1,997	1,920	1,934	-134	1,124	10,328	-7,994	1,050	9,784
2019/2020	16,122	7,745	12,486	12,164	7,237	8,803	15,401	5,677	8,743	85,921	5,505	47,300	129,608	5,967	77,332

◆◆◆ さとうきびの買入糖度・買入価格・トラッシュ率・歩留の推移 ◆◆◆

項目 各年	買入糖度 (%)	糖度帯 (%)			平均買入価格 (交付金込)	対前年比 (%)	トラッシュ率 (%)	工場歩留 (%)
		基準以下	基準内	基準以上				
今期(2021/2022)	15.41	1.6	11.4	87.0	24,617	109.1	11.40	12.29
2020/2021	14.27	13.4	38.5	48.1	22,555	98.8	10.17	12.11
2019/2020	14.93	2.8	23.5	73.7	22,810	108.5	10.56	12.78

さとうきび日記



生和糖業(株)原料係
岩井 辰矢さん
(赤連集落)

第3回

4/8 (金) 追肥 (3回目)

● BB880を20kg施肥

4/9 (土)

平均培土をしました。

- 中耕を繰り返す事で、雑草が生えるのを予防し、除草の手間を省くことができる。
- 去年ケイカルを投入した部分では分けつし元気があるように思える。

4/16 (土)

● 畑周りに除草剤散布

- ※ 主成分はアミノ酸系
葉から入って根まで枯らす除草剤です。
- ※ 土に落ちると除草効果を失う
種まき・苗の植付け前の使用もOK!



ここがポイント!

除草剤を選ぶポイントはいくつかありますが、雑草が生えている場所、雑草の種類、生育状況、時期等で目的と状況にあった除草剤を選んで下さい。

※他の肥料・農薬と混用しないでください。



株揃え作業について

「株揃え」作業は

- 表面のハカマをよける程度で良いのか?
- 土ごと深く切り揃えるのが良いのか?
- 最適な深さとは?

株揃え前の圃場



株地際より上部で茎が刈取りされていた。

～検証～

※ 0cm・5cm・無処理に分け、調査!

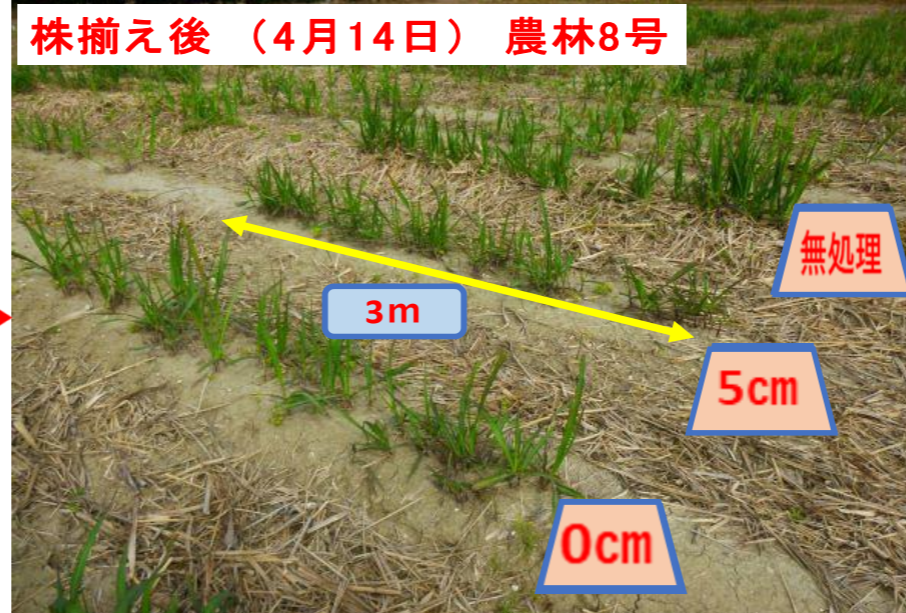
※ 萌芽(発芽)数を調査!

- 0cm : 株上のハカマを除く程度
- 5cm : 土壌表面から深さ5cm程で土ごと切り揃えた
- 無処理 : 何もせず株上のハカマが被った状態

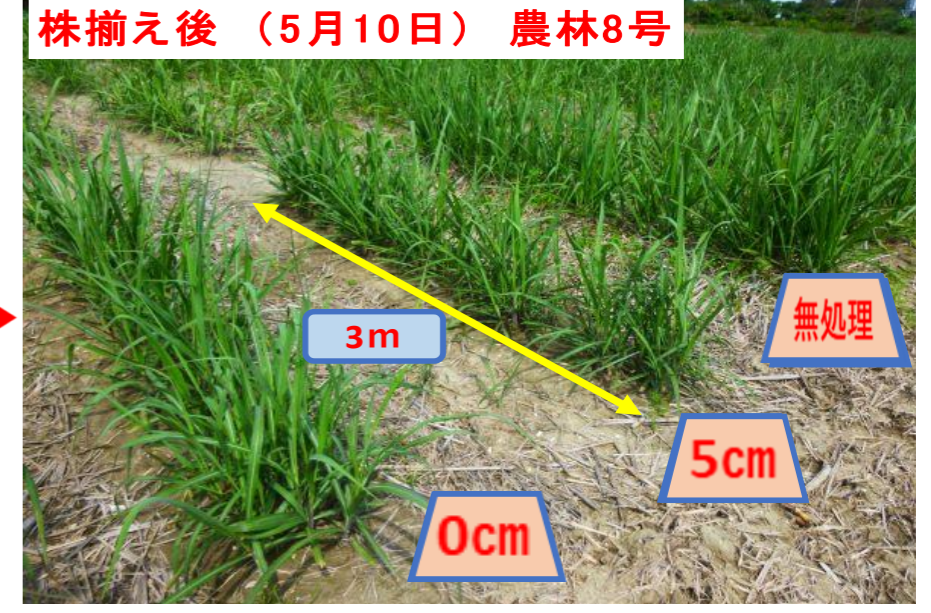
株揃え後の圃場 (3月25日)



株揃え後 (4月14日) 農林8号



株揃え後 (5月10日) 農林8号



参考資料

●サトウキビ収穫時の刈取りの深さが根の形質と収量に及ぼす影響
サトウキビ収穫時の刈取りの深さを3段階(土壌表面から深さ0cm、5cm、10cm)に分けて収量への影響を調査した結果、5cmで刈取った場合、0cmと比較して43%増加、10cmでは28%増加し、根の生育、細根の発達においても影響を及ぼした。

以上の事から、収量を増加させるために最も効果を表したのは5cmでの刈取りと示唆された。

※精糖技術研究会発行の「製糖文献抄録集」より抜粋

収穫時または株揃え時に深さ5cm程に切揃える事により、萌芽数の増加や根の発達など、収量増加につながるものと考えられる。

～検証結果～

参考資料ではハーベスター収穫時に刈取りの深さを5cmにすることで収量が最も増加するとの研究結果であった。
……ということは、

萌芽(発芽)本数(3m当り)

品種	8号		
	0cm	5cm	無処理
	89	129	73

ハーベスターで深さ5cm程度に刈取られた圃場の場合

株揃え作業はハカマを除く程度

ハーベスター収穫時に茎が残るような高刈りで刈取った圃場等の場合

株揃え作業は深さ5cm程に土ごと切り揃える

編集後記

先日、わが家のポストに「JAあまみ5月号」が入っていた。

その中で、奄美のタンカン、喜界島産カボチャ、徳之島の実エンドウ・バレイショ、沖永良部のバレイショ、与論のサトイモ等の記事が紹介されていた。最後のページにふと目をやると「明日の健康はより良い“睡眠”から」と題して睡眠の重要性が記載されていた。

「睡眠は、脳と体の疲労回復、記憶の整理と定着、ホルモンバランスの調整、免疫機能を高めるといった大切な役割を担っており、睡眠中には多くのホルモンが働いている。免疫はホルモンと連動する。細菌やウイルスに対する抵抗力は睡眠中に保たれる。」と書かれていた。

コロナ過で細菌やウイルス対策を行って誰もが健康には気を付けていると思うが、健康でいつまでも農業を続けていくためにも、もう一度睡眠について考えてみてはどうだろうか。